

質問事項 I -49 いろいろな人に支えられていると感じるようになった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	2	0.75
2.あまりそう思わない	12	4.53
3.どちらともいえない	70	26.42
4.ややそう思う	107	40.38
5.非常にそう思う	57	21.51
無回答	17	6.42
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-1 提供会員の家族と関わった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	8	3.02
2.あまりない	32	12.08
3.時々ある	127	47.92
4.よくある	82	30.94
無回答	16	6.04
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-2 提供会員のおかげで、子どもに、早寝早起きなどの生活習慣が身についた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	16	6.04
2.あまりない	114	43.02
3.時々ある	91	34.34
4.よくある	16	6.04
無回答	28	10.57
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-3 事業を通じて、地域の知り合いが増えた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	0	0.00
2.あまりない	23	8.68
3.時々ある	124	46.79
4.よくある	100	37.74
無回答	18	6.79
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-4 提供会員のおかげで、子どもにコミュニケーション能力が身についた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	1	0.38
2.あまりない	36	13.58
3.時々ある	143	53.96
4.よくある	59	22.26
無回答	26	9.81
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-5 我が子にいろいろな人が関わって育ててくれていると実感した。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	0	0.00
2.あまりない	9	3.40
3.時々ある	104	39.25
4.よくある	134	50.57
無回答	18	6.79
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-6 提供会員を、地域のボランティア(有償・無償)として尊敬している。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	0	0.00
2.あまりない	17	6.42
3.時々ある	103	38.87
4.よくある	126	47.55
無回答	19	7.17
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-7 提供会員から、身内や親せきの様に気にかけてもらった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	2	0.75
2.あまりない	11	4.15
3.時々ある	109	41.13
4.よくある	126	47.55
無回答	17	6.42
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-8 提供会員から、食い初め等年中行事や、伝統文化の大切さを教えてもらった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	18	6.79
2.あまりない	107	40.38
3.時々ある	99	37.36
4.よくある	16	6.04
無回答	25	9.43
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-9 提供会員から、親としての姿を学んだ。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	5	1.89
2.あまりない	44	16.60
3.時々ある	148	55.85
4.よくある	41	15.47
無回答	27	10.19
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-10 提供会員が、我が子(利用会員の子ども)のかわいさに気づかせてくれた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	0	0.00
2.あまりない	25	9.43
3.時々ある	150	56.60
4.よくある	66	24.91
無回答	24	9.06
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-11 提供会員のおかげで、子どもの病  
気への対処に関して不安が減った。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	9	3.40
2.あまりない	59	22.26
3.時々ある	136	51.32
4.よくある	37	13.96
無回答	24	9.06
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-12 提供下院のおかげで、子どもの精  
神面が安定した。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	5	1.89
2.あまりない	33	12.45
3.時々ある	147	55.47
4.よくある	58	21.89
無回答	22	8.30
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-13 提供会員に、無理なお願いを引き  
つけてもらった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	5	1.89
2.あまりない	31	11.70
3.時々ある	153	57.74
4.よくある	57	21.51
無回答	19	7.17
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-14 提供会員にプライベートなことを聞  
かれ嫌な思いをした。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	48	18.11
2.あまりない	150	56.60
3.時々ある	43	16.23
4.よくある	1	0.38
無回答	23	8.68
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-15 提供会員のおかげで、子どもの身  
体面が安定した。(病気や怪我が減った)

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	11	4.15
2.あまりない	92	34.72
3.時々ある	120	45.28
4.よくある	12	4.53
無回答	30	11.32
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-16 提供会員に、社会とのつながりの  
大切さを、理解してもらえた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	5	1.89
2.あまりない	64	24.15
3.時々ある	128	48.30
4.よくある	37	13.96
無回答	31	11.70
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-17 提供会員から、子育ては母親がす  
べきものと言われた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	114	43.02
2.あまりない	111	41.89
3.時々ある	13	4.91
4.よくある	2	0.75
無回答	25	9.43
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-18 提供会員から、効率的な家事や儉  
約の方法について習った。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	38	14.34
2.あまりない	121	45.66
3.時々ある	68	25.66
4.よくある	10	3.77
無回答	28	10.57
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-19 提供会員に親としてだけでなく、  
社会の一員として認められた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	6	2.26
2.あまりない	75	28.30
3.時々ある	115	43.40
4.よくある	37	13.96
無回答	32	12.08
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-20 提供会員に、子どもが身内のよう  
になつくようになった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	1	0.38
2.あまりない	9	3.40
3.時々ある	94	35.47
4.よくある	144	54.34
無回答	17	6.42
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-21 提供会員のおかげで、子どもに、挨拶などの礼儀作法が身についた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	3	1.13
2.あまりない	41	15.47
3.時々ある	149	56.23
4.よくある	45	16.98
無回答	27	10.19
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-22 提供会員のおかげで、家族以外の人と関わる機会ができた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	1	0.38
2.あまりない	9	3.40
3.時々ある	113	42.64
4.よくある	125	47.17
無回答	17	6.42
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-23 提供会員に連絡すればよいと思うと、孤立感を感じなくなった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	1	0.38
2.あまりない	26	9.81
3.時々ある	119	44.91
4.よくある	100	37.74
無回答	19	7.17
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-24 提供会員から、仕事と育児の両立をサポートしてもらった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	5	1.89
2.あまりない	18	6.79
3.時々ある	88	33.21
4.よくある	135	50.94
無回答	19	7.17
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-25 提供会員に、育児の悩みを聞いてもらった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	3	1.13
2.あまりない	14	5.28
3.時々ある	152	57.36
4.よくある	76	28.68
無回答	20	7.55
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-26 提供会員から、物事の見方、考え方を教えてもらった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	8	3.02
2.あまりない	89	33.58
3.時々ある	113	42.64
4.よくある	27	10.19
無回答	28	10.57
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-27 提供会員に、子どもを預けることが不安になった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	88	33.21
2.あまりない	135	50.94
3.時々ある	18	6.79
4.よくある	0	0.00
無回答	24	9.06
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-28 提供会員に、家事を手伝ってもらった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	153	57.74
2.あまりない	66	24.91
3.時々ある	19	7.17
4.よくある	8	3.02
無回答	19	7.17
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-29 提供会員から、地域行事や地域活動への誘いを受けた。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	62	23.40
2.あまりない	100	37.74
3.時々ある	68	25.66
4.よくある	8	3.02
無回答	27	10.19
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-30 提供会員に、育児の方法をならった。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	10	3.77
2.あまりない	70	26.42
3.時々ある	137	51.70
4.よくある	21	7.92
無回答	27	10.19
合計	265	100.00

質問事項Ⅱ-31 提供会員やファミリー・サポート・センター事業は、いざと言うとき助けてくれる存在に

質問事項Ⅱ-32 提供会員とは、お金と託児を介したつきあいだけだ。

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	2	0.75
2.あまりない	5	1.89
3.時々ある	88	33.21
4.よくある	155	58.49
無回答	15	5.66
合計	265	100.00

選択肢	度数	パーセント
1.全くない	51	19.25
2.あまりない	126	47.55
3.時々ある	54	20.38
4.よくある	7	2.64
無回答	27	10.19
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-1 貧富の格差は、所得の再配分を行う 質問項目Ⅲ-2 人を助ける仕事にやりがいを感じる  
ことにより縮小するべきだ

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	13	4.91
2.あまりそう思わない	27	10.19
3.どちらともいえない	140	52.83
4.ややそう思う	52	19.62
5.非常にそう思う	22	8.30
無回答	11	4.15
合計	265	100.00

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	0	0.00
2.あまりそう思わない	0	0.00
3.どちらともいえない	17	6.42
4.ややそう思う	122	46.04
5.非常にそう思う	121	45.66
無回答	5	1.89
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-3 人の喜びや悲しみを分かち合いたい 質問項目Ⅲ-4 人の役に立ったり、人を助けたりする  
と思う ことに充足感を見出す

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	0	0.00
2.あまりそう思わない	3	1.13
3.どちらともいえない	39	14.72
4.ややそう思う	131	49.43
5.非常にそう思う	88	33.21
無回答	4	1.51
合計	265	100.00

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	0	0.00
2.あまりそう思わない	0	0.00
3.どちらともいえない	20	7.55
4.ややそう思う	120	45.28
5.非常にそう思う	120	45.28
無回答	5	1.89
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-5 人の生き様を深く知って、心から共 質問項目Ⅲ-6 働くならば社会に欠くことのできない  
感を覚えることがある 仕事をするべきだと思う

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	0	0.00
2.あまりそう思わない	3	1.13
3.どちらともいえない	46	17.36
4.ややそう思う	138	52.08
5.非常にそう思う	73	27.55
無回答	5	1.89
合計	265	100.00

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	5	1.89
2.あまりそう思わない	25	9.43
3.どちらともいえない	133	50.19
4.ややそう思う	69	26.04
5.非常にそう思う	27	10.19
無回答	6	2.26
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-7 政府は貧困家庭に対して支出しす 質問項目Ⅲ-8 すべての人に一定所得は保証され  
ぎている るべきだ

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	33	12.45
2.あまりそう思わない	77	29.06
3.どちらともいえない	135	50.94
4.ややそう思う	12	4.53
5.非常にそう思う	3	1.13
無回答	5	1.89
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-8 すべての人に一定所得は保証され 質問項目Ⅲ-9 職業に就くなら社会全体にも役立つ  
るべきだ 仕事をするべきだ

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	6	2.26
2.あまりそう思わない	33	12.45
3.どちらともいえない	111	41.89
4.ややそう思う	74	27.92
5.非常にそう思う	35	13.21
無回答	6	2.26
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-9 職業に就くなら社会全体にも役立つ 質問項目Ⅲ-10 自費でも仕事の技術を学ぶ研修に  
仕事をするべきだ 参加するべきだ

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	9	3.40
2.あまりそう思わない	39	14.72
3.どちらともいえない	145	54.72
4.ややそう思う	53	20.00
5.非常にそう思う	11	4.15
無回答	8	3.02
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-10 自費でも仕事の技術を学ぶ研修に 質問項目Ⅲ-11 自費でも仕事の技術を学ぶ研修に  
参加するべきだ 参加するべきだ

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	5	1.89
2.あまりそう思わない	12	4.53
3.どちらともいえない	93	35.09
4.ややそう思う	122	46.04
5.非常にそう思う	28	10.57
無回答	5	1.89
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-11 仕事を通して社会に大きな貢献をするべきだ

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	4	1.51
2.あまりそう思わない	21	7.92
3.どちらともいえない	116	43.77
4.ややそう思う	98	36.98
5.非常にそう思う	18	6.79
無回答	8	3.02
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-12 仕事には誇りを持って臨むべきだ

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	1	0.38
2.あまりそう思わない	2	0.75
3.どちらともいえない	33	12.45
4.ややそう思う	121	45.66
5.非常にそう思う	102	38.49
無回答	6	2.26
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-13 困っている人を見るとほおっておけない気持ちになる

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	1	0.38
2.あまりそう思わない	2	0.75
3.どちらともいえない	40	15.09
4.ややそう思う	140	52.83
5.非常にそう思う	77	29.06
無回答	5	1.89
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-14 子育てに苦しむ人を支援する上で主要な責任は、国が負うべきだ

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	3	1.13
2.あまりそう思わない	12	4.53
3.どちらともいえない	107	40.38
4.ややそう思う	94	35.47
5.非常にそう思う	44	16.60
無回答	5	1.89
合計	265	100.00

質問項目Ⅲ-15 虐待している親は本人自身に問題がある

選択肢	度数	パーセント
1.全くそう思わない	4	1.51
2.あまりそう思わない	29	10.94
3.どちらともいえない	114	43.02
4.ややそう思う	71	26.79
5.非常にそう思う	41	15.47
無回答	6	2.26
合計	265	100.00

質問項目IV-1-a 性別

選択肢	度数	パーセント
1.男	6	2.26
2.女	256	96.60
無回答	3	1.13
合計	265	100.00

質問項目IV-1-c 子育て経験

選択肢	度数	パーセント
1.有	235	88.68
2.無	27	10.19
無回答	3	1.13
合計	265	100.00

質問項目IV-3 最終学歴

選択肢	度数	パーセント
1.小学校	0	0.00
2.中学校	2	0.75
3.高等学校	41	15.47
4.専門学校	25	9.43
5.短期大学	135	50.94
6.大学	55	20.75
7.大学院	1	0.38
無回答	6	2.26
合計	265	100.00

質問項目IV-4 職業・社会経験(複数回答)

選択肢	人数	パーセント
1.なし	1	0.15
2.主婦	116	16.89
3.市民活動団体	24	3.49
4.保育・幼児教育施設	132	19.21
5.学校	34	4.95
6.学童保育	24	3.49
7.子育て支援センター	34	4.95
8.病院	11	1.60
9.介護福祉施設	14	2.04
10.障害児・者施設	15	2.18
11.社会福祉協議会	42	6.11
12.児童センター	3	0.44
13.児童相談所	1	0.15
14.公民館職員	4	0.58
15.ファミサポ事業	175	25.47
16.その他	57	8.30
合計	687	100.00

※その他には託児パート、民間企業、コンビニ店員、塾講師、旅行業、児童館、市職員、サービス業、歯科医院、警察、営業職、訪問介護事業所、市役所委託、経理、

質問項目IV-1-b 年齢

選択肢	度数	パーセント
20代	8	3.02
30代	29	10.94
40代	103	38.87
50代	100	37.74
60代	17	6.42
70代	1	0.38
無回答	7	2.64
合計	265	100.00

質問項目IV-2 所有資格(複数回答)

選択肢	人数	パーセント
1.保育士	120	45.28
2.幼稚園教諭	112	42.26
3.小学校教諭	28	10.57
4.看護師	3	1.13
5.介護支援専門員	12	4.53
6.介護福祉士	9	3.40
7.精神保健福祉士	0	0.00
8.その他	52	19.62
9.なし	49	18.49
無回答	19	7.17
合計	404	100.00

質問項目IV-5 アドバイザー歴

選択肢	度数	パーセント
1. ~半年未満	1	0.38
2. 半年~1年未満	32	12.08
3. 1~2年未満	37	13.96
4. 2~3年未満	31	11.70
5. 3~4年未満	41	15.47
6. 4~5年未満	21	7.92
7. 5~6年未満	30	11.32
8. 6~7年未満	21	7.92
9. 7年以上~	45	16.98
無回答	6	2.26
合計	265	100.00

質問項目IV-6 雇用形態

選択肢	度数	パーセント
1.公務員	17	4.67
2.嘱託職員	110	30.22
3.臨時職員	64	17.58
4.パート	132	36.26
5.その他	32	8.79
無回答	9	2.47
合計	364	100.00

質問項目IV-7 雇用更新

選択肢	度数	パーセント
1.有	201	75.85
2.無<継続雇用>	52	19.62
無回答	12	4.53
合計	265	100.00



質問項目IV-8 更新制限(質問項目IV-7で「有」と回答した方) 質問項目IV-9-a 労働時間 / 一日

選択肢	度数	パーセント
1.無	57	28.36
2.最長1年	116	57.71
3.最長2年	4	1.99
4.最長3年	15	7.46
5.最長4年	1	0.50
6.最長5年	22	10.95
7.その他	39	19.40
合計	201	100.00

選択肢	度数	パーセント
1. ~4時間	5	1.89
2. 5~6時間	45	16.98
3. 7~8時間	201	75.85
4. 9時間以上	2	0.75
無回答	12	4.53
合計	265	100.00

質問項目IV-9-b 労働時間 日数/月

選択肢	度数	パーセント
1. ~5日	2	0.75
2. 6~10日	10	3.77
3. 11~15日	51	19.25
4. 16~21日	141	53.21
5. 22日以上	21	7.92
無回答	40	15.09
合計	265	100.00

質問項目IV-10 一日の労働時間

選択肢	度数	パーセント
1. 4時間以下	3	1.13
2. 5~8時間以内	232	87.55
3. 9~11時間以内	9	3.40
4. 12時間以上	1	0.38
無回答	20	7.55
合計	265	100.00

質問項目IV-11 給与

選択肢	度数	パーセント
1.時給	93	35.09
2.月給	156	58.87
日給	2	0.75
無回答	14	5.28
合計	265	100.00

質問項目IV-12 有給

選択肢	度数	パーセント
1.有	205	77.36
2.無	23	8.68
無回答	37	13.96
合計	265	100.00

質問項目IV-12 (上で「有給有り」と回答した方) 日数 質問項目IV-13 保険(複数回答)

選択肢	度数	パーセント
1. ~5日	33	21.89
1. 6~10日	51	25.37
2. 11~15日	44	21.89
3. 16~20日	53	26.37
4. 21~25日	2	1.00
5. 26日以上	5	2.49
無回答	13	6.47
誤回答	4	1.99
合計	205	101.99

選択肢	人数	パーセント
1.雇用保険	192	72.45
2.社会保険	162	61.13
3.無	37	13.96
無回答	12	4.53
合計	403	152.08

※誤回答には「年間40時間」、「1/月」、「5~12」などがある

質問項目IV-14 勤務時間内交通費

選択肢	度数	パーセント
1.有	158	59.62
2.無	86	32.45
3.その他	10	3.77
無回答	11	4.15
合計	265	100.00

質問項目IV-15 就労時間外対応

選択肢	度数	パーセント
1.有	159	60.00
2.無	85	32.08
3.その他	10	3.77
無回答	11	4.15
合計	265	100.00

※その他は公用車や自家用車使用時に費用が出る。※その他は緊急時など

質問項目IV-16 本事業のための個人携帯電話利用頻度

選択肢	度数	パーセント
1.よく使う	24	9.06
2.まあまあ使う	45	16.98
3.あまり使わない	105	39.62
4.全く使わない	85	32.08
無回答	6	2.26
合計	265	100.00

質問項目IV-17 携帯電話代の補助(IV-16で「よく使う、まあまあ使う」を選択された方)

選択肢	度数	パーセント
1.有	12	12.12
2.無<継続雇用>	87	87.88
合計	99	100.00

※IV-16で「よく使う、まあまあ使う」を選択された人は69名いたが、これを選択していない人もIV-17に回答していたため、合計人数が99名になっている。

質問項目 V-1-a 職員数

選択肢	人数	パーセント
0名	2	0.75
1名	48	18.11
2名	66	24.91
3名	64	24.15
4名	42	15.85
5名	19	7.17
6名	4	1.51
7名	4	1.51
8名	3	1.13
11名	1	0.38
30名	1	0.38
無回答	5	1.89

質問項目 V-2 運営方法

選択肢	度数	パーセント
1.直営	124	46.79
2.委託	128	48.30
無回答	13	4.91
合計	265	100.00

質問項目 V-3 委託先(V2で「委託」と回答した方)

選択肢	度数	パーセント
1.社会福祉協議会	67	33.33
2.NPO	38	18.91
3.社会福祉法人	5	2.49
4.福祉関係の財団法人	9	4.48
5.その他	18	8.96
6.無回答	128	63.68
合計	201	100.00

※その他には、社団法人、財団法人、市保育課、市民学習支援公社などがある

質問項目 V-1-b サブリーダー数

選択肢	人数	パーセント
0名	59	22.26
1名	14	5.28
2名	16	6.04
3名	17	6.42
4名	16	6.04
5名	26	9.81
6名	8	3.02
7名	7	2.64
8名	8	3.02
9名	5	1.89
10名	11	4.15
11名	2	0.75
12名	3	1.13
13名	1	0.38
14名	1	0.38
16名	5	1.89
17名	1	0.38
18名	2	0.75
20名	1	0.38
無回答	9	3.40

質問項目 V-4 連携したことの有る他機関(複数回答)

選択肢	人数	パーセント
1.養護学校	60	22.64
2.保健師	183	69.06
3.民生児童委員	91	34.34
4.市役所	189	71.32
5.家庭児童相談員	108	40.75
6.養護学校	52	19.62
7.ハローワーク(相談員等)	24	9.06
8.保育所・幼稚園	196	73.96
9.子育てサークル	78	29.43
10.児童センター	70	26.42
11.学校	109	41.13
12.会員の職場	11	4.15
13.自治会	23	8.68
14.公民館	50	18.87
15.本事業以外のボランティア	71	26.79
16.女性センター	29	10.94
17.その他	29	10.94
無回答	19	7.17

※その他には学童保育や子育て支援センターなどがある

## VII 単 純 集 計

## Ⅶ 単純集計<親への調査票>

### 1. 事業利用者層について

#### <要旨>

ここでは、ファミリー・サポート・センター事業の利用者に対して、属性に関する調査項目を設定し、選択肢による回答と、自由記述による回答を設定した。回答者の属性について、以下のことが明らかになった。

①利用者の約8割は、30才以上～45才未満である。②13才未満の子どもを持つ利用者が約9割である。③利用者は、就業している親が多いが、就業していない親の利用も約3割ある。④就業している利用者は、非正規雇用・パート・アルバイトが、約3割。また、就労時間は、9時間以上が約3割。不安定で、長時間労働が約3割程度あるということである。⑤利用会員のうち、約4割強が、今後提供会員になりたいと回答している。その理由として190人が、「助けてもらった、支えられた経験から恩返しをしたい」と回答している。さらに、103人が「助け合いたい、人の役に立ちたい、地域に貢献したい」と回答している。⑥一方、利用会員のうち、約5割が、今後提供会員にならない、と回答している。理由としては288人が、「時間がない、子育てで手一杯、まだ考えられない、仕事がある」と回答している。⑦援助内容では、その他の項目で、ファミリー・サポート・センター事業が、休日保育や待機児童対策、病児・病後児保育などの保育所の代替的役割を果たしていることがわかる。

#### 1. 問題設定

ここでは、全国ファミリー・サポート・センター事業の利用者961名から回答をいただいた。ファミリー・サポート・センター事業を利用している親は、どのような属性にあるのだろうか。どのような頻度でファミリー・サポート・センター事業を利用し、どのような援助内容を受けているのだろうか。このことを明らかにするために属性に関する調査項目を設定し、選択肢による回答と、自由記述による回答を設定した。

#### 2. 選択肢の回答

##### ○質問項目1

質問項目1は、利用者の子どもにとっての属性である。表1-1に示したとおり、利用者の93.86%(902人)は、母親である。祖父については、0%であった。

##### 質問項目番号Ⅲ-1

お子様にとってのあなたの属性をお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
母	902	93.86%
父	33	3.43%
祖母	8	0.83%
その他	2	0.21%
無回答	16	1.66%
合計	961	100.00%

表 1-1 利用者の子どもにとっての属性

##### ○質問項目2

質問項目2は、利用者の年齢である。表1-2に示した通り、35才以上～40才未満が、34.10%を占める。30才以上～35才未満は、24.53%であり、35才以上～40才未満と合わせると、30代の利用者は、58.63%であり、利用者の半数以上となる。続いて多いのは、40才以上～45才未満の20.58%である。利用者層の

79.23%、つまり約8割は、30才以上～45才未満であり、この年齢層に利用者が集中していることがわかる。

平成18年度版少子化社会白書によると、晩婚化、晩産化の影響によって、子どもが出生したときの母の年齢は、2005年では、第1子が29.1才、第2子が31.0才である。また、1974（昭和49）年生まれの女性、約半数（51.9%）が、30才時点で子どもを産んでいないことを考えると、利用者の年齢層は、今後、益々高くなるであろう。

#### 質問項目番号Ⅲ-2

あなたの年齢についてお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
20才未満	16	1.66%
20才以上～30才未満	65	6.76%
30才以上～35才未満	236	24.56%
35才以上～40才未満	328	34.13%
40才以上～45才未満	198	20.60%
45才以上～50才未満	58	6.04%
50才以上～55才未満	16	1.66%
55才以上～	15	1.56%
無回答	29	3.02%
合計	961	100.00%

#### 質問項目番号Ⅲ-3

お子様の人数をお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
1人	339	35.28%
2人	430	44.75%
3人	150	15.61%
4人	22	2.29%
5人	2	0.21%
無回答	18	1.87%
合計	961	100.00%

表 1-2 利用者の年齢

#### ○質問項目 3

質問項目3は、利用者の子どもの人数である。

回答は、1人が35.28%（339人）、2人が、44.75%（430人）で、合計すると80.03%である。約8割の利用者の子どもの数が、1～2人であることがわかる。また、利用者の平均出生児数1.85である。

国立社会保障・人口問題研究所調査の夫婦の完結出生児数（結婚持続期間15～19年）は、2005年段階で2.09であることから考えると<sup>2</sup>、若干であるが、子どもを1人持つ親の利用が高いといえる。

#### 質問項目番号Ⅲ-3

お子様の人数をお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
1人	339	35.28%
2人	430	44.75%
3人	150	15.61%
4人	22	2.29%
5人	2	0.21%
無回答	18	1.87%
合計	961	100.00%

表 1-3 子どもの人数

#### ○質問項目 4

質問項目4は、利用者の子どもの年齢である。表1-4から表1-7に示しているように、第1子は、3才以上～7才未満が36.11%、7才以上～13才未満が33.82%と、3才未満が18.73%であり、13才未満の子どもを持つ親が約9割（88.66%）であることがわかる。第2子、第3子にいたっては、年齢層がさらに下がる。つまり、子どもが小学生以下の親が、多く利用していることがわかる。また、乳幼児を持つ親だけではなく、小学生の子どもを持つ親の利用もあることがわかる。

選択肢	度数	パーセント
3才未満	180	18.73%
3才以上～7才未満	347	36.11%
7才以上～13才未満	325	33.82%
13才以上～19才未満	58	6.04%
19才以上	27	2.81%
無回答	24	2.50%
合計	961	100.00%

表 1-4 利用者の第1子の年齢

質問項目番号Ⅲ-4

第2子のお子様の年齢をお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
3才未満	208	21.64%
3才以上～7才未満	234	24.35%
7才以上～13才未満	110	11.45%
13才以上～19才未満	21	2.19%
19才以上	20	2.08%
無回答	368	38.29%
合計	961	100.00%

表 1-5 利用者の第2子の年齢

質問項目番号Ⅲ-4

第3子のお子様の年齢をお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
3才未満	76	7.91%
3才以上～7才未満	56	5.83%
7才以上～13才未満	22	2.29%
13才以上～19才未満	5	0.52%
19才以上	8	0.83%
無回答	794	82.62%
合計	961	100.00%

表 1-6 利用者の第3子の年齢

質問項目番号Ⅲ-4

第4子のお子様の年齢をお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
3才未満	9	0.94%
3才以上～7才未満	7	0.73%
7才以上～13才未満	4	0.42%
13才以上～19才未満	0	0.00%
19才以上	0	0.00%
無回答	941	97.92%
合計	961	100.00%

表 1-7 利用者の第4子の年齢

○質問項目 5

質問項目 5 は、利用者の家族構成員数である。

表 1-8 に示しているように、3人が 32.12% (309人)、4人が 37.94% (365人)、5人が 16.84% (162人) である。親と子どもだけという2人も、3.74% (36人) 存在する。家族構成員が少ないと言

うことは、自分が子どもを育てることができない時間帯を、家族にお願いすることができないということであり、家族にお願いできないから、ファミリー・サポート・センター事業を利用するという家庭が多いと考えられる。

質問項目番号Ⅲ-5

家族の人数についてお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
2人	36	3.75%
3人	309	32.15%
4人	365	37.98%
5人	162	16.86%
6人	49	5.10%
7人	16	1.66%
8人	3	0.31%
10人	1	0.10%
無回答	20	2.08%
合計	961	100.00%

表 1-8 利用者の家族構成員の人数

○質問項目 6

質問項目 6 は、利用者の就業の有無についてである。

表 1-9 に示しているように、就業していると回答したのは、66.60% (640人)、就業していないと回答したのは、30.70% (295人) であり、就業している割合が高い。ただ、就業していない親の利用率も3割を超えていることがわかる。後述するが、子どもの保育が必要な場面は、働いている、働いていないだけの問題ではなく、生活の中に多様であり、ファミリー・サポート・センター事業は、この多様な保育ニーズに対応できているからこそ、就業していない親も多く利用することができているのではないか。

質問項目番号Ⅲ-6

あなたの就業の有無についてお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
就業している	640	66.60%
就業していない	295	30.70%
無回答	26	2.71%
合計	961	100.00%

表 1-9 利用者の就業の有無

○質問項目 7～8

質問項目 7～10 は、質問項目 6 において「就業している」と回答した方 640 名を対象に質問した項目である。

表 1-10 で示しているように、利用者の 63.59% (407 人) が会社員・公務員である。自営業は、10.94% となっている。

表 1-10 は、「その他」に回答した 137 人 (24.84%) の自由記述である。自由記述と質問項目 8 (表 1-12) 利用者の就労形態についてと合わせて見るとわかりやすいが、正規雇用は、54.84% (351 人) あるが、非正規雇用 12.66% (81 人) や、パート・アルバイト 19.22% (123 人) の利用者も多い。また、医療関係の職業の方の利用も多い。

質問項目番号Ⅲ-7

あなたの職種について教えてください。

選択肢	度数	パーセント
会社員・公務員	407	63.59%
自営業	70	10.94%
学生	3	0.47%
その他	159	24.84%
無回答	1	0.16%
合計	640	100.00%

表 1-11 利用者の職種について

Ⅲ-7 あなたの職業について教えてください。

選択肢「その他」の自由記述一覧

自由記述	度数	パーセント
アルバイト、パート、嘱託・臨時職員、派遣、NPO	36	26.28%
看護師・医師・歯科衛生士・薬剤師・助産師	32	23.36%
専門職、コーチ、インストラクター、ヨガ、手話通訳者、音楽家、赤ペン先生、司会者、美容師、栄養士、内職、個々の依頼、音楽・ピアノ講師	22	16.06%
サービス業、接客業、飲食店、販売、小売業、教材販売、製造業	18	13.14%
教員・塾講師・講師・大学教員、団体職員、独法職員	16	11.68%
介護職、介助者、リハビリスタッフ、社会福祉士、保育士	12	8.76%
会社役員	1	0.73%
合計	137	100.00%

表 1-12 利用者の職種「その他」について

質問項目番号Ⅲ-8

あなたの就労形態についてお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
正社員（正規雇用）	351	54.84%
契約社員・臨時職員（非正規雇用）	81	12.66%
パート・アルバイト	123	19.22%
自営業	61	9.53%
在宅ワーク	10	1.56%
その他	14	2.19%
合計	640	100.00%

表 1-13 利用者の就労形態について

○質問項目 9～10

質問項目 9～10 は、前項目と同様、質問項目 6 において「就業している」と回答した方 640 名を対象に質問した項目である。質問項目 9 は、利用者の一週間の就業日数である。表 1-13 に示しているが、週 5 日以上～週 6 日未満が、もっとも多く 63.13% (404 人) である。週 6 日以上が 9.22% (59 人)、週 7 日が 1.25% (8 人) である。また、質問項目 10 は、利用者の一日の仕事時間についてであり、表 1-14 に示している。9 時間以上～11 時間以内が 28.1% (180 人)、12 時間以



上が 1.88% (12 人) いる。質問項目 9～10 からは、子育てしながら、過酷な労働条件の中で就業している層があることがわかる。

#### 質問項目番号Ⅲ-9

一週間に何日就業していますか。

選択肢	度数	パーセント
週1日以上～週2日未満	37	5.78%
週2日以上～週3日未満	38	5.94%
週3日以上～週4日未満	45	7.03%
週4日以上～週5日未満	46	7.19%
週5日以上～週6日未満	404	63.13%
週6日以上～週7日未満	59	9.22%
週7日(毎日)	8	1.25%
無回答	3	0.47%
合計	640	100.00%

表 1-13 利用者の一週間の就業日数について

#### 質問項目番号Ⅲ-10

一日の仕事時間をお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
4 時間以下	101	15.78%
5～8 時間以内	345	53.91%
9 時間以上～11 時間以内	180	28.13%
12 時間以上	12	1.88%
無回答	2	0.31%
合計	640	100.00%

表 1-14 利用者の一日の仕事時間について

#### ○質問項目 11

質問項目 11 は、利用者のファミリー・サポート・センター事業利用歴である。質問項目 11 以降は、利用者 961 人全体を対象としている。

表 1-15 に示しているように、最も多いのは、1年以上～2年未満 22.89% (220 人)、続いて半年以上～1年未満 19.15% (184 人)、2年以上～3年未満 15.09% (145 人)、半年未満が 14.98% (144 人)

の順である。つまり、3年未満の利用歴が、約7割 (72.11%) である。

#### 質問項目番号Ⅲ-11

ファミリー・サポート・センター事業の利用歴をお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
半年未満	144	14.98%
半年以上～1年未満	184	19.15%
1年以上～2年未満	220	22.89%
2年以上～3年未満	145	15.09%
3年以上～4年未満	80	8.32%
4年以上～5年未満	61	6.35%
5年以上～6年未満	48	4.99%
6年以上～7年未満	20	2.08%
7年以上～	27	2.81%
無回答	32	3.33%
合計	961	100.00%

表 1-15 利用者利用歴

#### ○質問項目 12

質問項目 12 は、利用者の月間事業利用頻度である。「ファミリー・サポート・センター事業のおおよその月間利用頻度をお答え下さい。」という質問項目を設定し、「おおよそ月 ( ) 回」という自由記述の回答を求めた。その回答から、「月1回未満」「月1回以上～週1回未満」「週1回以上～週2回未満」「週2回以上～週3回未満」「週3回以上」「無回答」と区分したのが、表 1-16 である。最も多いのは、「月1回以上～週1回未満」28.82% (277 人) である。週1回以上利用している層は、45.57% である。月1回未満は、14.05% (135 人) であり、後述する自由記述にもあるが、あまり利用はしないが、利用登録しているだけでも心強く感じている利用者がいる。

質問項目番号Ⅲ-12

ファミリー・サポート・センター事業のおおよその月間利用頻度をお答え下さい。

選択肢	度数	パーセント
月1回未満	135	14.05%
月1回以上～週1回未満	277	28.82%
週1回以上～週2回未満	165	17.17%
週2回以上～週3回未満	188	19.56%
週3回以上	85	8.84%
無回答	111	11.55%
合計	961	100.00%

表 1-16 利用者の月間事業利用頻度

○質問項目 13～14

質問項目 13 は、利用者が、提供会員を兼ねているかどうか（両方会員かどうか）という質問である。また質問項目 14 は、質問項目 13 において「いいえ」と回答した 785 人に対して回答をもとめた。

表 1-17 に示すように、提供会員でない利用者が 81.69%（785 人）であり大部分を占める。ただ、「はい」と回答した 15.7%（151 人）は、時間に余裕が有るときは、他の利用者の子どもの預かっている様子が伺える。

つづいて、質問項目 14 では、表 1-18 に示すように、44.20%（347 人）の方が、今後、提供会員になりたいと回答している。また、「いいえ」を選択した 52.87%（415 人）の中にも、質問項目 15 の自由記述の中で、以下のように、時間ができたら考えたいという回答もあった。

「ID504 自営業のため、仕事に就かないといけないため。小さなお子さんと触れ合う機会は持ちたいと思うので仕事が一段落してからぜひ提供会員に立候補したいと思います。（ID は、調査票番号）」

質問項目番号Ⅲ-13

あなたは、両方会員（利用会員と提供会員）ですか。

選択肢	度数	パーセント
はい	151	15.71%
いいえ	785	81.69%
無回答	25	2.60%
合計	961	100.00%

表 1-17 利用者が提供会員でもあるか（両方会員かどうか）

質問項目番号Ⅲ-14

「13」で「②いいえ」の方は、今後、提供会員になりたいと思いませんか。

選択肢	度数	パーセント
はい	347	44.20%
いいえ	415	52.87%
無回答	23	2.93%
合計	785	100.00%

表 1-18 利用者が、今後、提供会員になりたいか

○質問項目 15

質問項目 15 は、質問項目 14 「今後、提供会員になりたいと思いませんか」の設問項目に対して、「はい」または「いいえ」に回答した理由の自由記述である。

質問項目 14 において「はい」と回答した 347 人を母数とすると、質問項目 15 のその理由を問うた設問に自由記述で回答した割合は、92.8%（322 人）である。

また、「いいえ」と回答した 415 人を母数とすると、質問項目 15 のその理由を問うた設問に自由記述で回答した割合は、92.5%（384 人）である。

まず、「はい」と回答した方の自由記述を整理すると、表 1-19 の 10 のカテゴリーに分けられる。

次に、「いいえ」と回答した方の自由記述を整理すると、表 1-20 の 8 のカテゴリーに分けられる。

「はい」「いいえ」両方の自由記述のカ

テグリー化において、一人の文章を要素ごとに整理したので、別のカテゴリーに複数カウントしている場合がある。

また、基礎資料については、章末に掲載している。

提供会員になりたい理由	人
1) 助けてもらった、支えられた経験から恩返ししたい。	190
2) 助け合いたい、人の役に立ちたい、地域に貢献したい	103
3) 退職後や子どもの手が離れるなど、時間ができたらやってみたい	76
4) 子ども好き (24人)	24
5) 地域のつながりを持ちたい、友達	8
6) 資格や経験が生かせる	7
7) 子どもの育ちのため	10
8) 収入を得たい	4
9) 提供会員数が足りない	3
10) その他	8

表 1-19 提供会員になりたい理由

提供会員にならない理由	人数
1) 時間がない、子育てで手一杯、まだ考えられない仕事がある	288
2) 子どもを預かる自信がない、力量的に無理、いまの提供会員さんのようにはできない、責任が持てない	70
3) 体力、体調が悪い、障害など	11
4) 大変そう	7
5) 家庭の事情	6
6) 子育ては楽しくない、子どもがかわいく	6
7) 体制がない	4
8) その他	1

表 1-20 提供会員にならない理由

#### ○質問項目 16

質問項目 16 は、利用者が同居しているか、または、近隣に親族が住んでいるかどうかについての回答である。

表 1-21 に示すとおり、「はい」を選択したのは 47.30% (455 人)、「いいえ」を選択したのは、49.27% (474 人) であ

る。親族が近隣に住んでいても、ファミリー・サポート・センター事業の利用は高い。

#### 質問項目番号Ⅲ-16

同居、あるいは日常通える距離に親戚や祖父母は住んでいますか。

選択肢	度数	パーセント
はい	455	47.35%
いいえ	474	49.32%
無回答	32	3.33%
合計	961	100.00%

表 1-21 利用者が同居しているか、または近隣に親族が住んでいるか。

#### ○質問項目 17

質問項目 17 は、利用者の、現在の地域での居住年数である。回答は、「おおよそ ( ) 年」という自由記述であり、それを、表 1-22 に示すとおり、「1 年未満」「1 年以上～5 年未満」「5 年以上～10 年未満」「10 年以上～15 年未満」「15 年以上～20 年未満」「20 年以上」という 6 つに区分し整理した。

10 年未満という回答が、約 6 割 (60.04%) を占める。利用者は、30 代が多いことを考えると、生まれてからずっと同じ地域に住んでいる利用者が、「20 年以上」を選択したと考えると、その回答者は、12.70% (122 人) となる。

質問項目番号Ⅲ-17

現在の街に住んで、何年経ちましたか。

選択肢	度数	パーセント
1年未満	6	0.62%
1年以上～5年未満	251	26.12%
5年以上～10年未満	320	33.30%
10年以上～15年未満	176	18.31%
15年以上～20年未満	51	5.31%
20年以上	122	12.70%
無回答	35	3.64%
合計	961	100.00%

表 1-22 利用者の居住年数

○質問項目 18①～⑦

質問項目 18 は、利用者が利用している援助内容についての設問である。利用者は、複数の選択肢を選び回答できるようにした。

回答は、表 1-23～表 1-26 に示している。利用者の分母を 961 人とした時、割合が多い順番では、

- ・保護者等の病気や休養等の場合に子どもを預ける。・・・30.07%
- ・保育所・幼稚園の開始前や終了後の子どもを預ける・・・20.92%
- ・自宅から保育所等への送迎・・・20.29%
- ・学校の放課後や学童保育終了後、子どもを預ける・・・16.75%
- ・買い物等外出の際、子どもを預ける  
・・・12.47%
- ・冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際、子どもを預ける  
・・・11.86%
- ・学校の夏休みなどに子どもを預ける  
・・・6.35%

質問項目番号Ⅲ-18①

援助内容(自宅から保育所等への送迎。)

選択肢	度数	パーセント
利用していない	741	77.11%
利用している	195	20.29%
無回答	25	2.60%
合計	961	100.00%

表 1-23 援助内容(自宅から保育所等への送迎)

質問項目番号Ⅲ-18②

援助内容(保育所・幼稚園の開始前や終了後の子どもを預ける。)

選択肢	度数	パーセント
利用していない	735	76.48%
利用している	201	20.92%
無回答	25	2.60%
合計	961	100.00%

表 1-24 援助内容(保育所・幼稚園の開始前や終了後の子どもを預ける)

質問項目番号Ⅲ-18③

援助内容(学校の放課後や学童保育終了後、子どもを預ける。)

選択肢	度数	パーセント
利用していない	775	80.65%
利用している	161	16.75%
無回答	25	2.60%
合計	961	100.00%

表 1-25 援助内容(学校の放課後や学童保育終了後、子どもを預ける)

質問項目番号Ⅲ-18④

援助内容(学校の夏休みなどに子どもを預ける。)

選択肢	度数	パーセント
利用していない	875	91.05%
利用している	61	6.35%
無回答	25	2.60%
合計	961	100.00%

表 1-26 援助内容(学校の夏休みなどに子どもを預ける)